

登録コード	MA008200	開講年度	2026			
授業科目名	周麻酔期看護学特論Ⅱ				担当教員	田中 聡
英文授業名	Special Lecture in Perianesthesia Nursing Ⅱ				副担当	石田 高志・伊藤 真理子・石田 公美子・田中 竜介・丸山 友紀
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	・不定期	対象専攻／学年
講義室			授業形態	講義	授業科目区分	(周麻酔期) 必須科目
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄ MS 2 6 カリ(医科学)・医科, MS 2 5 カリ(医科学)・医科, MS 2 4 カリ(医科学)・医科, MS 2 3 カリ(医科学)・医科 【医科学】幅広い知識を基盤とし、最新情報を収集・分析することにより、社会のニーズに適応した行動をとることができる。 ⇄ 救急・集中治療における患者の病態を理解し適切な管理法を説明できる。					
(2)授業の概要	ハイリスク患者に対する麻酔や、緊急手術の可能性のある疾患や病態について、救急・集中治療管理を学び、科学的根拠に基づく周麻酔期看護を実践するために必要な基礎知識を理解する。 担当教員の麻酔・周術期医療の実務経験を活かした授業を行う。					
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	・救急・集中治療管理の学びを通し、緊急手術時の麻酔管理方法を理解できる。 ・救急・集中治療の必要な疾患や病態について、看護ケアのポイントを理解できる。					
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	・救急・集中治療の必要な疾患と管理を学ぶ。 ・救急・集中治療の必要な患者の看護ケアを学ぶ。					
(5)授業計画	授業日程は受講学生と相談の上決定する。 1. 救急・集中治療の基礎と看護：killer symptomへの対応など 2. 急性呼吸不全（ARDS），急性肺水腫と集中管理 3. 急性循環不全（AMI,DAA）と集中管理 4. 外傷・創傷と集中管理（1）（交通外傷含む） 5. 外傷・創傷と集中管理（2）（広範囲熱傷含む） 6. 急性腹症と集中管理(食道静脈瘤破裂，急性腹膜炎含む) 7. 急性中毒と集中管理（血液浄化法含む） 8. 脳神経・脳循環障害と集中管理 9. 産科麻酔 10. 小児麻酔 11. 高齢者に対する麻酔 12～13. 救急・集中治療，周麻酔期管理に必要な画像診断 胸部X-P, CT, MRI, 超音波，造影検査 14～15. 蘇生時のケア(一次救命処置と二次救命処置)					
(6)授業の進め方	講義を中心とするが，課題を学生が調べ，プレゼンテーションを課す場合がある。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	各回の復習を各自行う。					
(8)成績評価の方法	試験，プレゼンテーションの内容，レポート，参加度を総合評価し，60%以上を合格とする。					
(9)成績評価の基準	試験では授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある：良」，応用問題が解ければ「やや上にある：優」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある：秀」と判断する。 レポートやプレゼンテーションについては、(i)課題のまとめ方の内容や発表内容から問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある：秀」，4項目までできていれば「やや上にある：優」，3項目までできていれば「水準にある:良」と判断する。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	質問、相談については適宜対応する。メールも可能。 麻酔科代表：masui@shinshu-u.ac.jp ・周麻酔期看護学学生対象科目 ＊内容が変更になることがある。					
【テキスト，教材，参考書】	日本麻酔科学会・周術期管理チーム委員会編：周術期管理チームテキスト第4版、公益社団法人日本麻酔科学会 その他、別途、指示する。					